

年末に出荷できる果皮の紅色が濃い新品種「かんきつ鹿児島5号」

「かんきつ鹿児島5号」は、果皮が赤橙色、種子が無く、高糖度で食味が優れ、露地栽培で12月上旬に収穫できる

背景・目的

- ・露地栽培で年末に出荷されるポンカンには、近年、栽培面積、生産量が減少傾向
- ・年末商戦に出荷販売できる露地栽培カンキツ新品種のニーズが高い
- ・育種目標は、年内に成熟し、着色良好で、無核、高糖度、低酸および隔年結果の小さい品種

成果の内容

育成経過

平成17年に「べにばえ」に「かんきつ中間母本農5号」の花粉を交配し、得られた実生から選抜

特性

- ・露地栽培で12月上旬に収穫し、年末に出荷
- ・果皮は、商品性の高い赤橙色
- ・糖度13度以上、クエン酸含量1%以下
- ・果実重は100～150g程度、種子はない



「かんきつ鹿児島5号」の果実

	果実重 (g)	果皮色 色票値	糖度 (°Brix)	クエン酸含量 (g/100ml)	剥皮性	じよのう 膜の硬さ
かんきつ鹿児島5号	90～155	9.1～11.8	13.0～15.6	0.60～0.93	中～易	やや軟～中
吉田ポンカン	170	7.5	10.0	0.90	易	やや軟

注1) 平成25～27, 30年および令和元～4年の8年分

注2) 「吉田ポンカン」は垂水市(旧農業開発総合センター果樹部)の平年値

注3) 果皮色色票値は果実カラーチャートオレンジ色系により測定

期待される効果

食味の優れた果実の年内出荷による
農業所得の向上



○普及対象・範囲
カンキツ生産者・県内カンキツ産地

鹿児島県農業開発総合センター
果樹・花き部常緑果樹研究室

(R04)